

2023年10月 しょうじゅの里 小野

第63号



しょうじゅ



♪4年ぶりのお祭りに向け準備中♪



10/15に開催する4年ぶりのしょうじゅ祭に向け、職員とご利用者様と一緒に準備を行っています♪遊戯コーナーも射的や輪投げなど、昔懐かしいお祭りの定番を用意しました♪雨が降らないように、オリジナルの“てるてる坊主”も作り、あとは当日を楽しみに待つだけとなっております♪

中秋の名月を創作しました～秋の収穫に感謝を込めて～



十五夜とは、1年で最も美しいとされている「中秋の名月」を鑑賞しながら、秋の収穫物を供えて実りに感謝をする行事であり、十五夜は別名「芋名月」とも呼ぶそうです。

今回も手作りの個性豊かな作品に仕上がりました♪



月ではうさぎが餅つきをしています♪

クラブ活動で交流促進～お出かけするきっかけづくり～



家族ボランティアの方々と折紙クラブをはじめて3か月が経過し、ユニットから“いってきま～す!!”と出かけ、“ただいま～!!”“おかえりなさい～!!”という声が頻繁に聞こえるようになりました♪施設でもご自宅と同じような暮らしが継続できるよう意識しています♪



ボランティアの皆様には大変感謝しております♪

指先の使用は脳の活性化につながります♪

コラム
小野日和

“生活リハビリ”で暮らしにやりがいを…



「生活リハビリ」という言葉を耳にすると、専門的な技術や病院のイメージを持つ方もいらっしゃるかと思います。しかし、私たち「しょうじゅの里小野」でおこなっている生活リハビリは、高度な器具や特殊なプログラムを前面に出すのではなく、日常の中の様々な動作や活動自体がリハビリになるような内容が主になっています。

例えば、食卓までの歩行に関して、当施設では食事の際、できるだけ自分の力で移動することを奨励しています。また、排泄や起居動作（寝ている姿勢から起き上がる動作）においても、可能な範囲で自分の力で行っていただくようお願いしています。



これらの取り組みは、身体的な筋力やバランスの維持・向上を目的としていますが、それ以上に「自分の力ができる」という確信や達成感を感じ、生活への意欲や喜びを増進させる効果があります。

高齢になると、身体の機能は徐々に低下するのが自然な流れです。しかし、この低下を可能な限り緩やかにし、高齢であっても質の高い日常生活を送るために、生活リハビリが非常に有効であると考えています。



さらに、当施設のアプローチは、心の健康にも重点を置いています。病気や高齢による身体の変化、孤独感を抱える方々に、日常生活の中での成功体験を通じて、前向きな気持ちや希望を再び感じるサポートを行っています。



「しょうじゅの里小野」では、生活リハビリを通じて、身体だけでなく心のケアも大切にし、一人一人の日常生活の質を高めるお手伝いをしています。

“いのち”を守るケア～救急救命講習を開催しました～

ご利用者様の“いのち”を守るために、うしおだ総合病院の救急救命士の看護師さんに講師を依頼し、託児所職員と合同で救急救命講習を開催しました。講義と共に、実際の現場での緊急時を想定した実技をレクチャーしていただきました。



託児所職員は子供にも対応できる技術を学びました。



心肺蘇生やAEDの取扱い等を学びました。



～職員紹介シリーズ～ 今回も介護職員の紹介です!!

暮らしを支えるスペシャリスト

“意向と好み”を重視した生活感のある暮らし



介護リーダー
寺本さん

★ 好きな言葉★

“親切丁寧”

★ 目標★

“相手の気持ち
を考える”

★ 趣味★

焼き菓子作り



母親に介護が必要となり、介護職員の方に大変お世話になったことがきっかけで『私もいつかこんな仕事がしてみたい。』と思っていた時に、当施設の開設を知り、入職させていただきました。未経験だったため、毎日覚える事ばかりで余裕はありませんでしたが、私の不慣れな介助にも『ありがとう。』と言っていただける事が嬉しく今まで頑張ってくことができました。

ユニットケアでご利用者様の暮らしを充実するように心がけ、“どのような暮らしを望んでいるのか、自分には何ができるか”を考え、丁寧に対応していきたいと思っています。そのため、私のユニットでは特に、暮らしに季節を感じていただけるよう、色々工夫をしております。ご利用者様との信頼関係を築き、小さな変化にも気付ける職員を目指したいと思っております。利用者様やご家族様に、この施設を選んで良かったと思っていただけるようこれからも頑張っていきます。

